

SICかわらばん

SIC、入居企業、地域企業 を結ぶ情報紙 — 地域版 —

発行日：令和2年11月16日(月)
(2020年)

地域企業紹介 69

株式会社セルタン

独自のビジネススタイルで 100億円企業へ

ソファ・クッションを中心としたインテリア製品の製造販売を行う株式会社セルタンの八木美樹男社長を厚木市金田の本社工場に訪ねました。エントランスには「ウェルカムボード」が掲げられ、私たちを暖かく迎え入れてくれました。

八木美樹男社長は厚木市の出身。市内の小中学校から厚木高校を経て、法政大学経営学部へ進んだ。当時は学生運動が盛んであまり大学には行けなかったが、探検部に所属し「スリランカ仏教遺跡探検隊」として遺跡調査に熱中。1年間のうち半年間はスリランカで調査活動を行い、残りの半年間は渡航資金を稼ぐためのアルバイトを行っていた。ちなみにスリランカに魅了された八木社長は、新婚旅行もスリランカだったそうだ。

大学卒業後、専門学校で溶接の基礎技術を学び、埼玉県蕨市の鉄工所で“ものづくり”の経験を積んだ。さらに都内にあるウレタン関連の会社に勤務した後、セルタンに入社した。入社後は、トラックでの配達業務にも携わるなど、社内のひと通りの業務を経験してきた。その後、専務取締役を経て、1990年に先代から引き継いで代表取締役社長に就任した。

そんな八木社長の長期ビジョンは「100億円企業になろう!」だ。そしていかなる状況にも「潰れない会社をつくる」こと。その根底には子供の頃に経験した父経営会社の倒産がある。会社が倒産すると様々な問題や辛いことが起きると幼いながらも感じたそうだ。売上を伸ばすことにこだわっているわけではないが、潰れない安定した経営をするために売上と利益は伸ばしたいと八木社長は語る。

同社は、1967年に東邦セルタン工業株式会社として先代八木敬治氏によって設立された。社名の由来はセルロース（繊維）とウレタンを合わせた造語。もともと婚礼用布団や健康布団の製造販売を行っており、自動車や新幹線のシート製造も手掛けるウレタン加工業者として経営基盤を築いた。ピーク時は年商50億円を超すまでに成長したが、1990年代当時のマルチ商法問題の影響を受けて年商は8億円まで急激に減少。2010年には、取引先である中堅ホームセンターから突如取引解消を通告された。普通なら倒産してもおかしくない経営危機を2度も乗り越えながら、近年では年商20～30億円で推移している。その原動力はどこにあるのだろうか。

同社は、製品の企画・設計・デザイン・製造・販売までを一貫事業として行っていることが大きな特徴だ。企画段階では、25年ほど前から運用している「社内オンラインシステム」を活用して新人からベテランまで誰でも提案できる。また、5～6人のチームで様々な課題・目標を設定してチャレン

代表取締役社長：八木 美樹男（やぎ みさお）
所在地：神奈川県厚木市金田 1655
従業員数：179名
資本金：9,450万円
事業内容：ソファを中心としたインテリア製品の
「企画・製造・販売」一貫事業

URL：https://ct1.jp/



公式通販サイトはこちら
https://cellutane.co.jp/

じする「もしドラ・プロジェクト」や財務諸表の開示、プライベートな話題も書き込むことができる仕組みになっている。経営者と従業員が常にオープンな関係をキープでき、モチベーションアップや業績向上にもつながっている。

製造部門では、独自の成型法によるウレタンフォームのリサイクル技術を通じて、品質向上とコストダウンを両立させている。同時に、産業廃棄物であるウレタン廃材を利用した日本発のリサイクル・ソファ・ブランドとして環境問題にも対応している。製品を形作る金型の製造も自社で作っており、その技術力にも定評がある。一方、販売部門においては、ホームセンターによる取引解消通告を契機にEC中心のネット販売へ移行した。ホームセンターでは商品の陳列が2〜3点だが、ネット販売では原則無限だ。また、従業員の皆さんも売上増加のための「EC適正化」を検討するなど「業務改善意識」も高い。さらに、お客様の声も載るので大勢の方が選べるメリットがあるなど、ネット販売の有効性を存分に活かしたビジネススタイルが構築されている。現在、ソファブランド「和楽の音色」として、日本製にこだわった高品質なソファをお手頃価格で提供している。

この一貫事業を円滑に行っているのが、179名の従業員の皆さんだ。

特徴的なのは、そのうち140名はアルバイトスタッフで、定年を迎えた60歳〜80歳のシニアの方で構成されていること。職人気質の方が数多く現場で活躍しており、まさに1億総活躍社会を実現している。こうした企業風土が同社の大きな強みになっているのだろう。

今までは、自分たちが欲しいと思うものをつくってきたが、これからはそれに加えて、お客様のニーズを取り入れた商品をつくり、お客様に判断し選んでもらいたいと八木社長は語る。幼少の頃に味わった辛く苦い経験。それが大きな経営危機にも怯まず乗り越えてきた原動力になっているようだ。いいソファをリーズナブルに提供するセルタン。これからもピンチをチャンスに変えて、様々なアイデアや独創的な企画開発力を武器に「100億円企業」を目指す“セルタン”に心からエールを贈りたい。



入居企業紹介

70

株式会社ミュートック

電磁場・熱・構造解析の課題解決を後押し

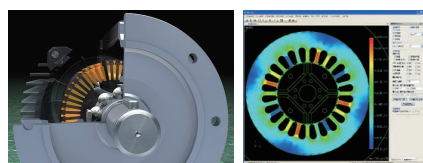
電磁場解析を中心とした科学技術計算サービスを提供する株式会社ミュートックの野島洋一社長にお話を伺いました。

情報システム関連企業で応力・熱・電磁場の解析ソフト開発に従事していた野島社長。40代の頃に起業を決意し、2002年7月にミュートック社を設立しました。SICには、2020年2月より入居しています。

製品開発などの現場では、実物を作る前に設計の妥当性・性能試験・最適形状・最適条件などをシミュレーションにより検討することが重要なため、コンピュータによる解析技術である“CAE”(Computer Aided Engineering)が広く活用されています。しかしながら、CAEには専門的な知識が必要になることから、その活用ハードルを感じている企業も少なくありません。そこで、ミュートック社では、電磁場解析を中心とした“科学技術計算ソフトの開発・販売・保守”や“受託解析・開発”、“CAEコンサルティング”などの事業を通して、CAEを身近に活用するための解決策を提案しています。最近では、電磁場解析に留まらず、熱・構造解析などにも領域を広げており、幅広い課題に対応したソフトを開発しています。

例えば、同社が開発したEV(電気自動車)用モータの低損失・高効率化解析が可

能なベクトル磁気特性解析ソフト「μ-E&S」では、モータコアの回転磁束下の鉄損を正確にシミュレーションすることができます。本技術は、大分大学榎園教授が開発したベクトル磁気特性理論によるもので、最近話題を集めている”モータ飛行機”にも応用されています。



ベクトル磁気特性解析ソフト「μ-E&S」

また、Excelベースの熱・構造・電磁場解析ソフト「μ-Excel」は、『解析ソフトは高額』という常識を覆す低価格ソフトで、Excel上で動作するため使い慣れた操作感で本格的なシミュレーションが可能となっています。同製品はサブスクリプションサービスも提供されているなど、手軽に利用できる点も特長です。



月額9,800円で、μ-EXCELを使い放題
必要なときに必要な
解析テーマを選べます。

同社の技術は、市民共有のインフラである土木構造物、中でも橋梁を中心とした鋼構造物の分野でも活かされています。具体的には、橋の防食塗装の場面で必要な旧塗装の除去に際して、誘導加熱法(RPR工法)という剥離法が注目されており、この研究に取り組む大阪大学廣畑准教授の研究室で同社の3次元誘導加熱および温度解析ソフト「μ-TM」が役立てられています。

そのほか、各回1社限定によるセミナーを毎月2回程度開催しており、そこでは製品紹介だけでなく、企業ごとの課題に応じたテーマの解説や情報交換を行っています。さらに、毎月第2水曜日に配信しているメールマガジンやYoutubeチャンネルを通して、製品情報や解析技術情報などの情報発信にも積極的に取り組んでいます。特にメールマガジンのユーザー訪問記は、毎回大きな反響を呼んでいます。

ミュートック社では、電磁場・熱・構造解析分野における知識・経験豊富なスタッフが「一丸」となり、これからも「丁寧に・迅速に・しかも納得のいく価格」で顧客の課題解決を後押ししていきます。

株式会社ミュートック
SIC-2 Creation Lab. 504 号室
URL: <https://www.mutec.org/>



昨今、官民間問わず、多様な「創業支援」が盛んに取り組まれています。このうち、SICのインキュベーション活動も、事業を開始してからの「伴走支援」が主な支援活動となっています。様々な経営課題に対して、インキュベーション・マネージャーや専門家などがサポートする体制を整え、円滑な課題解決のための支援スキル向上に日々邁進しています。

そこで、本特集では、『最近よく聞く「創業支援」とは？』と題し、創業支援とは何のために、どのようなことが行われているのか、3回にわたって紹介していきます。その第1回目となる今回は、まず政策としての創業支援の必要性や背景について考察していきたいと思います。

なぜ創業支援？

経済の活性化により税収を増やし、公共サービスなどを充実化させることを通して社会をより豊かにすることは、国や地方自治体が担う役割の1つです。具体的な施策として、研究開発を支援する補助金や、民間金融機関よりも条件が優遇された制度融資などが挙げられ、活用されている方も多いと思います。そういった施策の中で、新しい製品を作りサービスを提供することを、ゼロから事業を始める人、つまり「創業者」に担ってもらうことを期待しているのが「創業支援」です。経済活動の多くは、株式会社などの会社や個人事業主といった民間事業者が担っています。将来にわたり国内経済の力をつけていくためには、民間事業者を増やし、かつ成長し儲かる事業者を増やしていくことが重要で、そのために行政も創業に関する支援を行っています。

とは言え、創業支援にどれだけの成果が期待できるかと言えば、一部では円滑に創業期を乗り越える事例はあるものの、全体としては制度自体の限界や支援者スキルのバラつきなど、課題も山積みとなっているのが実態です。

創業の難しさ

日本の中小企業の6～7割が赤字決算を出していることから、創業者が事業を軌道に乗せることの難しさが想像できます。業歴があっても、黒字決算を出すために相当な努力が必要となる中、ヒト・モノ・カネといった「経営資源」が少ない創業者において、事業開始後すべてが順調に進むということはごく稀なケースです。『中小企業白書2017』によれば、欧米諸国よりも日本の方が創業後5年後の生存率が高いというデータ（日本で81.7%、欧米諸国はおおむね40%台。調査方法の限界で、日本は実態より高い調査結果との注釈あり）もありますが、そもそも日本では創業自体が少なく、創業コストの高さやリスクを嫌う気質などに要因があるようです。

このような中、諸外国では創業者を創出するための施策が功を奏している事例もあり、日本でも様々な創業促進のための施策が打ち出されてきました。創業への動機づけを目的とした先輩創業者のセミナーや事業計画策定のための講習など、より実務に直結する内容に充実化されています。ただ、今後はもう一段階ステージを上げるため、創業促進と創業後の伴走支援を一体的させ、多様な創業者の目線に立った支援メニューをスキーム化し、実践を重ねていかなければなりません。そのためには行政や支援機関、支援者がそれぞれの役割を明確にし、成果が期待できる仕組みづくりと支援リソースの底上げが課題と言えます。

今回は創業支援全般について取り上げました。次回は、実際の支援活動について、収益面が中心となった事業計画の策定にとどまらないセミナーや講習、ベンチャー企業向けの専門的かつ実践的な支援事例などを紹介いたします。



片山 寛之（かたやま ひろし）

事業創造部 インキュベーション・マネージャー

2009年にSICに入社。主に入居企業支援を担当し、マーケティング計画や資金計画など、事業全般に関する相談対応や伴走支援に取り組んでいる。2017年、JBIA（日本ビジネスインキュベーション協会）のシニアIMに登録。中小企業診断士（2008年登録）。

江戸前寿司ちかなり

相模原市中央区星が丘にある、江戸前寿司ちかなり本店にお邪魔しました。2007年に中学生から寿司職人を目指していた大将が開業したとのこと。こだわりはネタの鮮度。真鶴港で大将自ら競り買っています。今回は人気のお好みで握りを選ぶセットと、特別セットをいただきました。ネタだけでなくシャリも小さ目が選べ、また蕎麦や天ぷら・煮魚などセットメニューはどれもおいしく、宴会利用が多いのも頷けます。

スタッフが元気に働くための職場作りを心掛けているとのこと、60名の宴会ができる広さでも、目配りのきいた活気ある雰囲気です。市内でしたら、10名から25名までバス送迎可能です。人もネタも活きのいい、元気をチャージできるお店でした！（佐藤）

神奈川県相模原市中央区星が丘3-14-8

営業時間 11:30～22:00ラストオーダー21:30 ランチメニューは14:00で切り替え

定休日 月曜日（祭日の場合は火曜日）

TEL 042-755-0441 HP <https://chikanarihonten.owst.jp/>



第3回 アフターコロナ取り組み事例②

リモート社会での顧客動向の変化と、
非常時こそ振り返る自社の価値

コロナの発生により順調だった独自のマーケティング戦略の転換を余儀なくされた今、養豚農家として顧客にどのように価値を提供していくか、その現状と展望をお話いただきます。

【講師】株式会社みやじ豚 代表取締役社長
宮治 勇輔 氏



ホームページ
<https://miyajibuta.com/>



【日時】令和2年12月3日(木) 16:00～17:30

【方式】オンライン(Zoom)

【参加費】無料

【定員】先着30名(定員に達し次第、募集を締め切ります)

【申込方法】 ホームページ
<https://www.sic-sagamihara.jp/nansei-forum/>

【担当】事業創造部 磯谷



シェアするオフィス&ラボ

EN-Garage 会員募集中!!

SIC-1 Startup Lab.にオープンしたシェアするオフィス&ラボ“EN-Garage”では、新規会員を募集しています。スタートアップや一人で事業活動を行う方、企業のテレワーク場所などにご利用可能な会員制シェアオフィス“Desk10”と、ラボ内にある作業台やデスクをシェアしてものづくり作業が可能な“Fab10”からなる“EN-Garage”。見学は随時受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。



会員制シェアオフィス Desk10



ものづくり作業スペース Fab10



Kitchen Lab.

キッチンラボ

利用者募集!

飲食店開業を目指す方に、SIC内にあるキッチンラボ(厨房・客席)利用のご案内です。

約5坪の厨房内には、「業務用のガスコンロ」「冷蔵庫」「冷凍庫」の他、「ガス式スチームコンベクション」も完備しています。ランチ用の食器等も揃えていますので、飲食店営業に向けた初期費用を抑えられます。また、経営面や店舗オペレーションの実務的なサポートも行いますので、是非、キッチンラボの利用をご検討ください。

【対象者】相模原市内で飲食店開業を目指す方

【利用期間の目安】3~6ヶ月

【お問い合わせ】事業創造部 片山

2020.12

SIC EVENT CALENDAR イベントカレンダー

12月 3日(木) 南西フォーラム アフターコロナ分科会
オンラインミニセミナー(参加者募集中!!)

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によって、日程や会場等を変更する場合があります。



入居企業を募集しています。

SIC空室情報 (令和2年11月16日 現在) ※お気軽にお問い合わせください。

部 屋	空 室 数	賃料/月額 (共益費込・消費税抜き)
SIC-1 Startup Lab.		
○セミラボB (31.5㎡)	1	98,400円
○スモールオフィスA (23.6㎡×2)	1※1	157,400円
SIC-2 Creation Lab.		
○セミラボ (50.2㎡)	1	172,700円

※1 二間続き

編集後記

コロナ禍によって自宅過ごす時間が増え、ソファや座椅子を買い求める方が増えているそうです。セルタンの製品では、食パン座椅子や目玉焼きブランケット、卵の黄身クッションといった食パンシリーズがSNSで話題になりました。また、ポケモンに出てくるカビゴンのビーズソファも人気を集めるなど、一風変わったソファもラインアップされています。皆さまもぜひお試しください!



(株)さがみはら産業創造センター(SIC)
〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077
E-mail: koho@sic-sagamihara.jp

ご意見・ご感想を
お待ちしております。

ウェブサイト <https://www.sic-sagamihara.jp/>